



LINUS6.4 App

(専用アプリ)

– LINUS Control v2.9.4 –





## ■ 目次

1. アンプへの接続 .....	3
1.1. WiFiの有効化 .....	3
1.2. アプリのインストール .....	3
1.3. ログイン .....	3
2. タブ .....	4
2.1. Speakers タブ .....	4
2.2. Routing タブ .....	5
2.3. Tuning タブ .....	6
2.4. PEQ タブ .....	8
2.5. Monitor タブ .....	10
3. メニュー .....	11
3.1. アプリメニュー .....	11
3.2. Device メニュー .....	12
3.3. Device Info (デバイス情報) .....	12
3.4. Snapshots(スナップショット) .....	13



## 1. アンプへの接続

### 1.1. WiFi の有効化

LINUS6.4 アプリを使用するには、LINUS6.4 アンプ本体に内蔵された WiFi hotspot を有効にする必要があります。WiFi を有効にするには、アンプ本体のフロントパネルの **Mute** ボタン を長押ししてください。QR コードが表示されますので、モバイル端末のカメラでスキャンすると、自動的にアンプの WiFi ネットワークに接続できます。

### 1.2. アプリのインストール

アンプの WiFi ネットワークに接続したら、モバイル端末のブラウザを開き、IP アドレス **172.24.0.1** を入力してください。ログインページが表示されます。この時点で、端末に LINUS6.4 アプリをインストールできます。Apple デバイスの場合は、画面下の「共有（英語表示：Share）」ボタンをタップし、下へスクロールして「ホーム画面に追加（英語表示：Add to Home Screen）」を選択してください。アプリの名前を入力し、右上の「追加（英語表示：Add）」をタップすると、ホーム画面に CODA ロゴの付いたアプリがインストールされます。

### 1.3. ログイン

アンプの WiFi に接続し、アプリを開くとログイン画面が表示されます。Login をクリックすると、アンプのコントロールを開始できます。



#### 警告

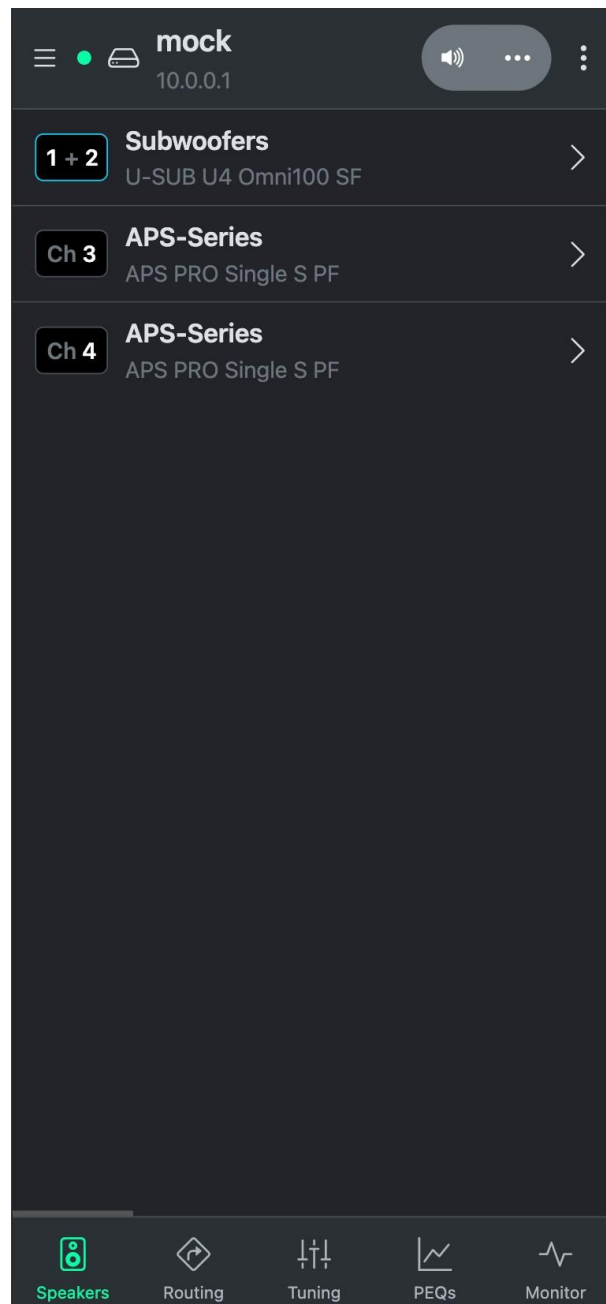
他の CODA アンプ同様に LINUS6.4 アプリは LINUS Control と同時に使用することはできません。アンプの設定を変更するコントロールは、常に 1 つ（アプリまたは LINUS Control のいずれか）に限定される必要があります。これを守らないと、LINUS Control で行った変更がアプリに反映されず、逆も同様で、結果としてアプリとも LINUS Control ととも一致しない不整合な状態に陥る可能性があります。

1 つのコントロールのみが接続されるように、アンプは LINUS Control が接続された時点でアプリおよびその WiFi hotspot を切断します。LINUS Control の接続が解除された後は、WiFi hotspot を再度有効にしてアプリを接続することができます。



## 2. タブ

### 2.1. Speakers タブ



**Speakers** タブでは、**LINUS Control** に接続せずにスピーカプリセットを読み込むことができます。

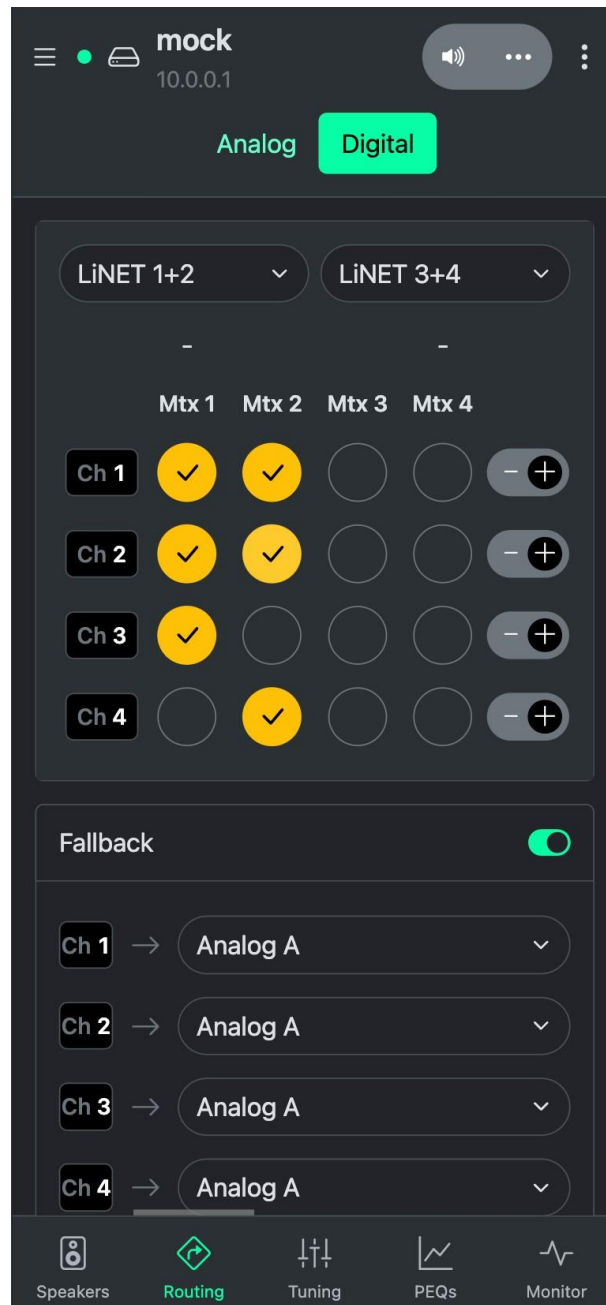
チャンネルをクリックするとプリセットリストが開き、現在 **LINUS6.4** でサポートされているすべてのスピーカプリセットが表示されます。

プリセットリストの上部では、**4ch** 出力（表示は“**Normal**”）とブリッジプリセット（表示は“**Bridge**”）を切り替えることが可能です。

ブリッジ構成のチャンネルペアは、**Speakers** タブ上で **1** つのチャンネルとして表示されます（例：“**1+2**”）。



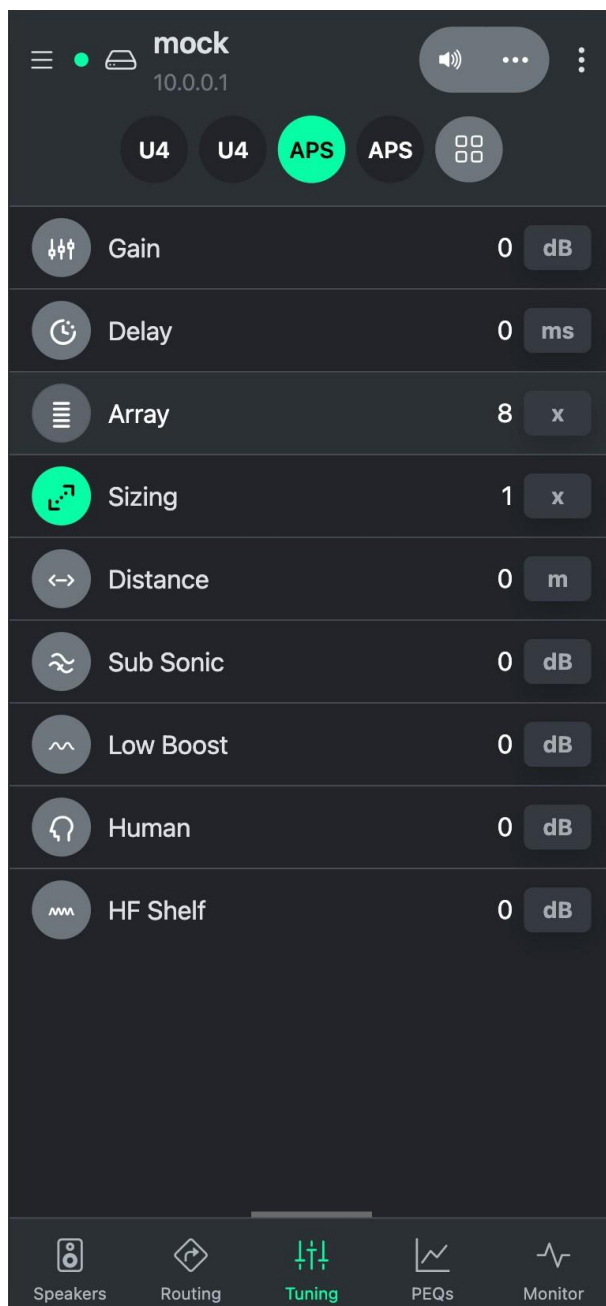
## 2.2.Routing タブ



Routing タブでは、LINUS Control と似たデザインの入力ルーティング画面を使用します。画面上部では、アナログ入力とデジタル入力を切り替えることが可能です。ルーティングマトリクスの各行の右側には、そのアンプ出力用の **Polarity**（極性）切替スイッチが配置されています。入力信号タイプとして **LiNET** が選択されている場合は、ルーティングマトリクスの下に **Analog Fallback Routing**（アナログフォールバックルーティング）リストが表示されます。



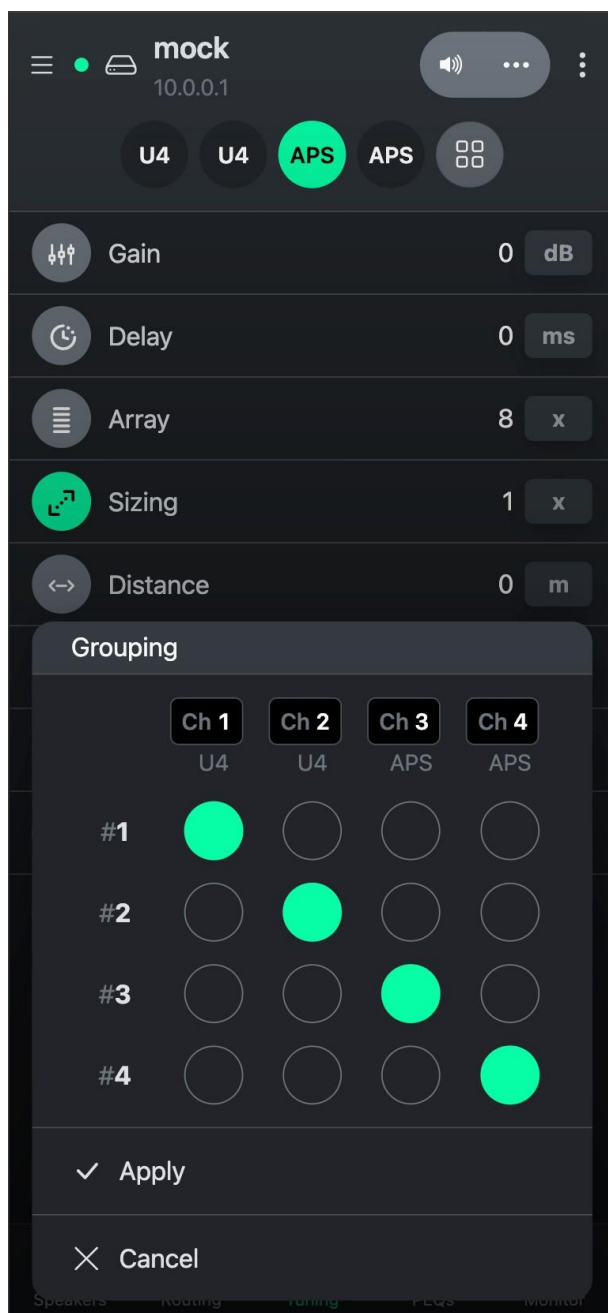
## 2.3.Tuning タブ



**Tuning** タブには、**LINUS Control** と同じチューニング用ツールが用意されています。**Tuning** タブ上部の省略されたスピーカー名をクリックすると、そのチャンネルをチューニング対象として選択できます。同一のチューニングパラメータを複数のチャンネルに適用する場合は、ページ上部でチャンネルをグループ化することが可能です。



選択ボタンの右側にある上記ボタンをクリックすると、グルーピング設定画面が開きます。



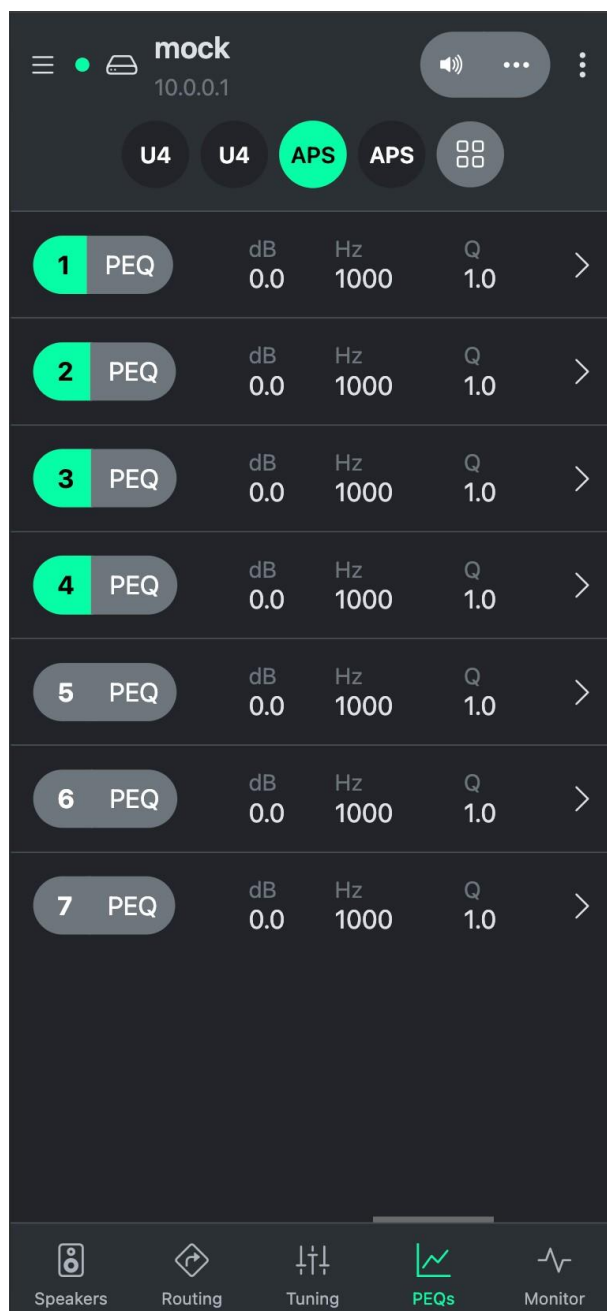
ここでは、複数のアンプチャンネル（横列）を 1 つの仮想チューニンググループ（縦列）にリンクさせることができます。

同じグルーピングのロジックは、**PEQs** タブにも適用されます。

チューニング値の後ろにある単位部分を押したまま上下にドラッグするとスライダーが開き、チューニングパラメータを調整する別の方法として使用できます。

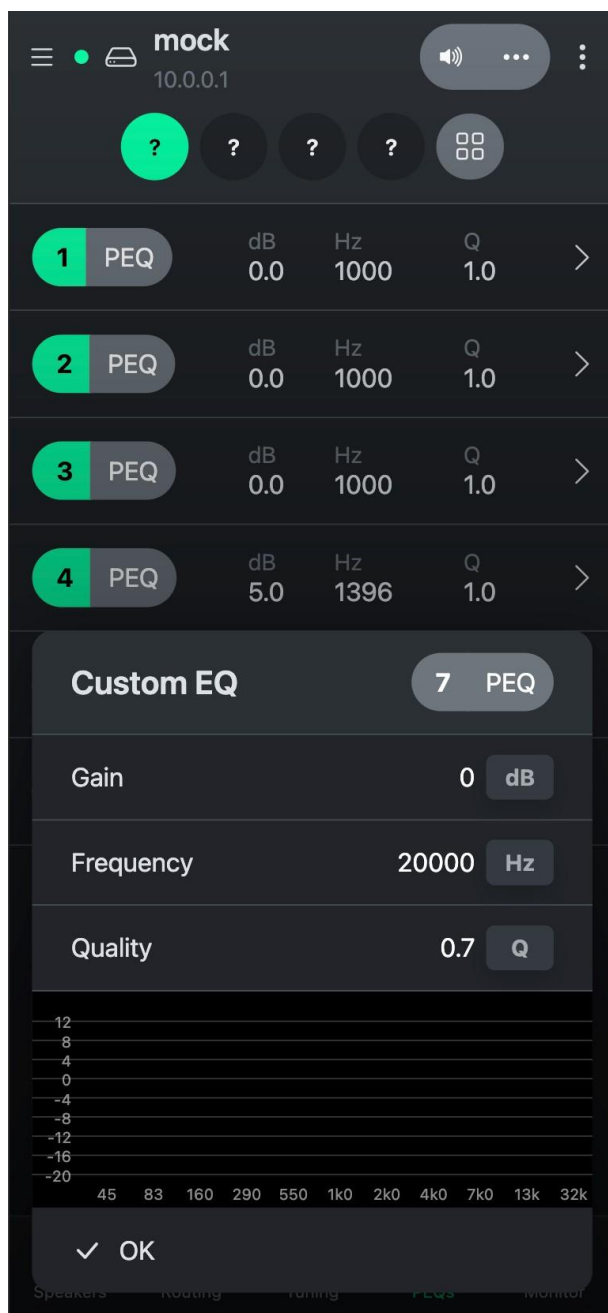


## 2.4.PEQ タブ



PEQ タブでは、各出力チャンネルに対して 7 つのパラメトリックイコライザーを使用できます。PEQ は、番号部分が緑色にハイライトされている場合に有効になっています。フィルタータイプは、Bell, High-Shelf, Low-Shelf のいずれか設定が可能です。PEQ は、各横列の操作したい部分をクリックすることで調整できます。



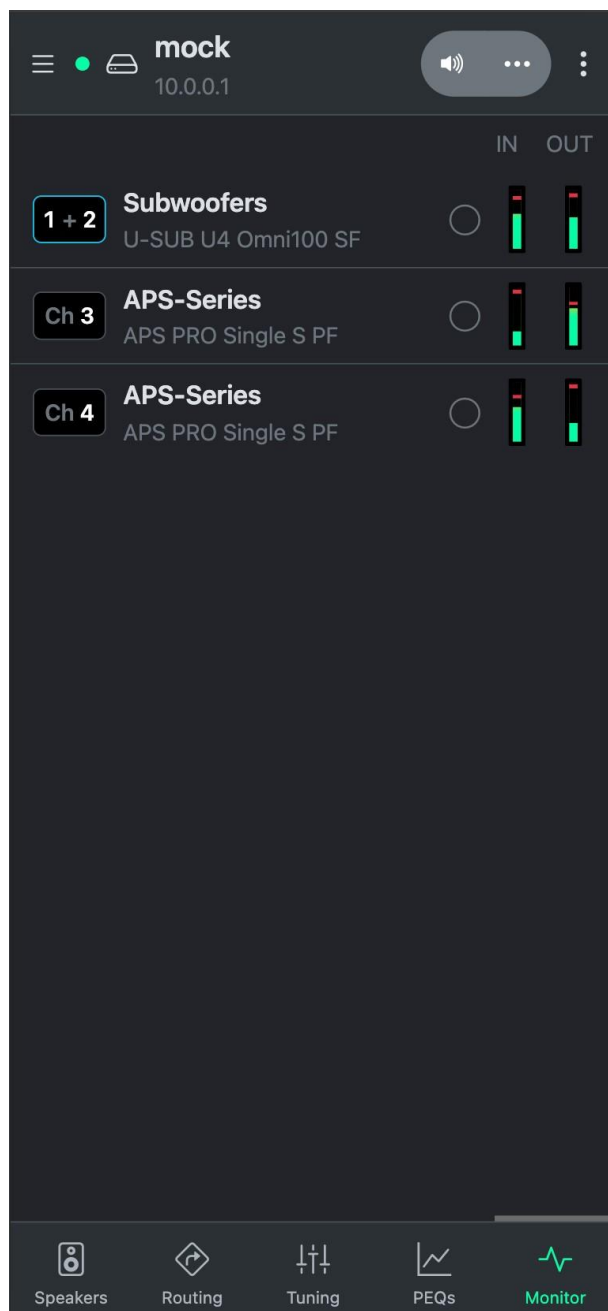


クリックすると、フィルタータイプ (Bell, High-Shelf, Low-Shelf の選択)、Gain (ゲイン)、Frequency (周波数)、Q (Q 値：帯域幅) の各パラメータを設定できるウィンドウが開きます。

PEQ タブにおけるグルーピングの仕組みは、Tuning タブと同じであり、双方に反映されます。



## 2.5. Monitor タブ

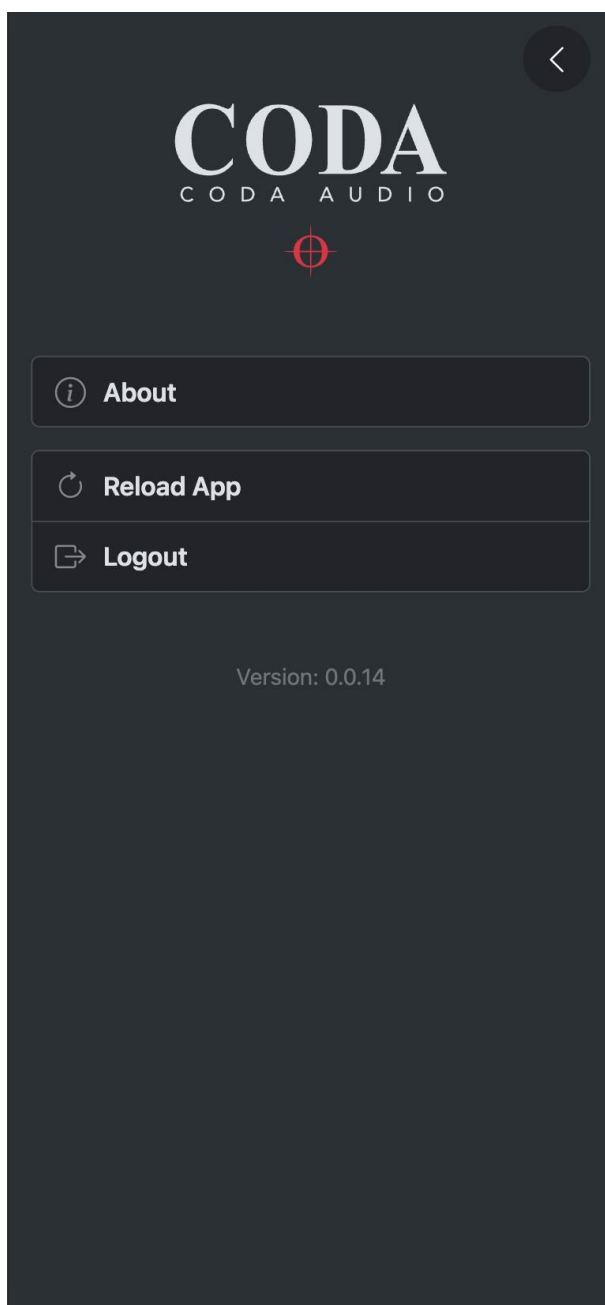


**Monitor** タブでは、各アンプチャンネルの入力および出力信号レベルが表示されます。**Bridge** 出力のチャンネルペアは、1 つの出力として表示されます（例: “1+2”）。チャンネルをクリックすると、より詳細なメーター表示が開きます。



### 3. メニュー

#### 3.1. アプリメニュー



アプリのユーザーインターフェース左上にある三本線（≡のボタン）をクリックすると、アプリメニューが開きます。何らかの理由でアプリがアンプとの接続を失った場合は、「**Reload App**」ボタンをクリックしてください。アンプに再接続し、現在の状態が更新されます。

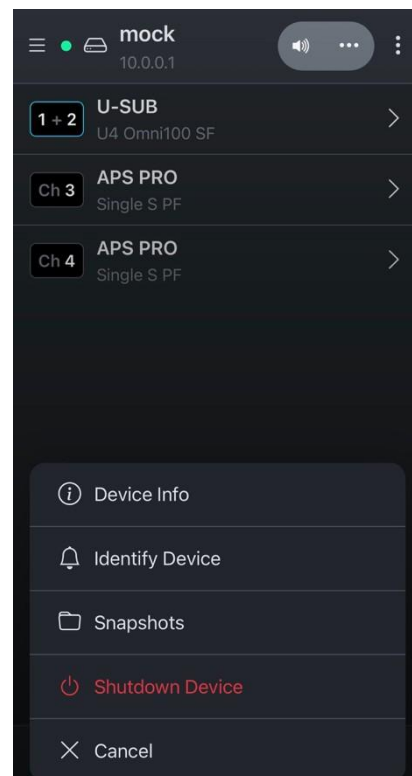


### 3.2.Device メニュー

アプリ画面の右上にある縦三点リーダー (⋮) をクリックすると、Device (デバイス) メニューが開きます。ここでは下記機能にアクセスできます。

Identify Device：アンプのディスプレイが点滅し、正しいユニットに接続されているか確認できます（LINUS Control の Identify ボタンと同じ機能です）。

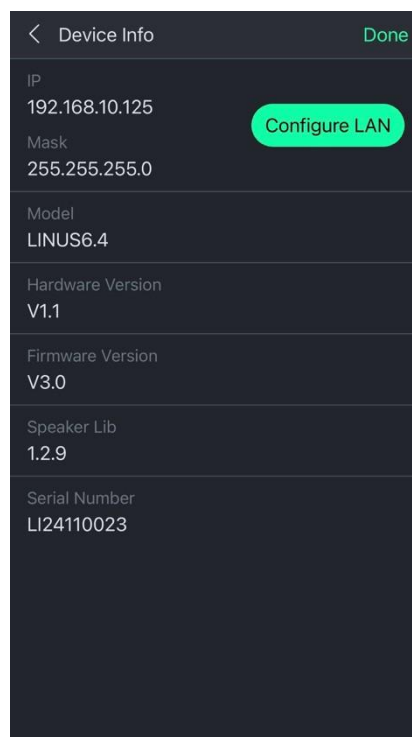
Shutdown Device：アンプがスタンバイ状態になります（LINUS Control の Amps ページにある Power ボタンと同じ機能です）。



### 3.3.Device Info(デバイス情報)

デバイス情報ページには、ハードウェアおよびファームウェアのバージョン、スピーカーライブラリのバージョン、シリアル番号など、デバイス固有の情報が表示されます。

また、アンプのイーサネット制御ポートに現在設定されている IP アドレスとサブネットマスクも表示されます（アプリが使用する WiFi ネットワーク上のものではありません）。





「Configure LAN (LAN設定)」ボタンをクリックし、LINUS Controlが接続する際の新しい固定IPアドレスまたはサブネットマスクを設定してください。「Configure LAN」で設定を変更した後、「Apply (適用)」をクリックしてください。

< Configure LAN Apply

IP  
192.168.10.125

Mask  
255.255.0.0

### 3.4. Snapshots(スナップショット)

LINUS6.4アプリは、LINUS Controlによってアンプに保存されたスナップショットを呼び出すことができます。また、LINUS Controlに接続せずに新しいスナップショットを保存・呼び出すことも可能です。

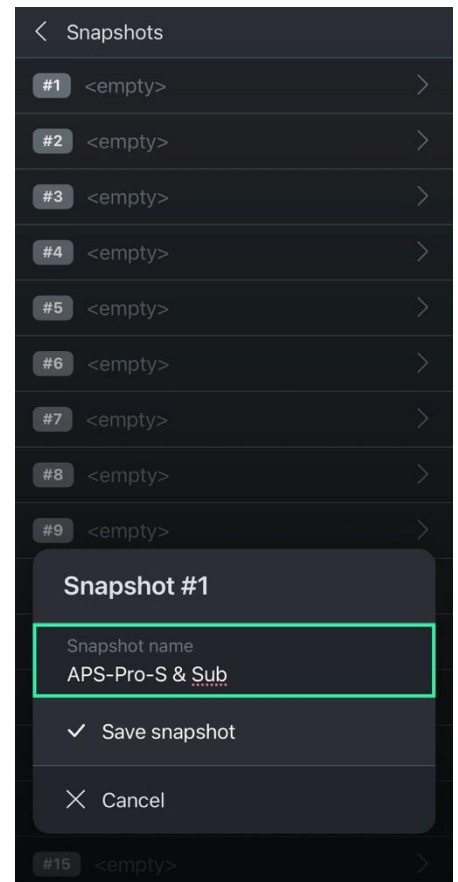
< Snapshots

#1	<empty>	>
#2	<empty>	>
#3	<empty>	>
#4	<empty>	>
#5	<empty>	>
#6	<empty>	>
#7	<empty>	>
#8	<empty>	>
#9	<empty>	>
<b>Snapshot #1</b>		
📄 Load snapshot		
💾 Save snapshot		
✕ Cancel		
#15	<empty>	>



LINUS6.4には20個のスナップショットスロットが用意されており、デフォルトでは空の状態です。スロットの一つを選択するとダイアログが開き「Load snapshot（スナップショットをロードする）」と「Save snapshot（スナップショットを保存する）」が表示されます。

「Save snapshot」を選択した後、新しいスナップショットの名前を入力してから、「Save snapshot」を再度クリックして確定します。



# CODA

C O D A A U D I O



202512

●この製品を安全にお使いいただくために、設置・運用には十分な安全対策を行ってください。●商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。●掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。●記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。



ヒビノインターサウンド株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70

E-mail: [info@hibino-intersound.co.jp](mailto:info@hibino-intersound.co.jp)

<https://www.hibino-intersound.co.jp/>